

野菜園芸（2，3年選択）・野菜（3年選択）

- 「野菜園芸」は今年度41名が受講しています。実習ができる適正人数になるように20名前後の2講座（毎週水曜日と金曜日）に分割して、それぞれ2，3年合同で授業を行っています。
- 「野菜」は今年度14名受講者が集まり、久しぶりに講座を開くことになりました。14名のうち4名は昨年度2年の時に「野菜園芸」を受講した生徒です。授業は毎週水曜日の1，2限です。
- 「野菜園芸」「野菜」とともに教員が選んだ野菜を全員で協力して栽培する「共通作」と生徒が、割り振られた各自の畑で自由に野菜を選んで栽培する「自由作」の2本立てで実習を構成しています。
（「自由作」の種子や苗は各生徒が園芸店やホームセンターで購入してきます。）

【今年度6月までの授業風景や畑の様子】《自由作》



5月11日 「自由作」の畑の準備（畝立て・マルチ張り）をして栽培開始。



5月16日 野菜の播種^{はしゅ}（種まき）・苗の定植（畑への植え付け）



← 各自の畑で唯一学校から種子を貰って全員が栽培しているキュウリ



キュウリの雌花（メスの花）。
付け根に小さなキュウリの実があります



開く前のキュウリの雄花（オスの花）。
こちらには小さな実がありません。

5月29日 キュウリが本葉
7枚まで成長
巻きひげ： つる植物のキュウリは
これを巻きつけてよじ登ります。 →



6月8日 「自由作」の畑の野菜は播種（種まき）や定植（苗の植え付け）から1か月弱が過ぎ、大きく成長して本格的な収穫が始まりました。



ピーマン



栽培者も満足



ナス



収穫したナスの実・・・の向こうの2人は観察と作業を終えて他の生徒の畑を見学中。より良い野菜を作ろうと思うと他の人の畑が気になり、見学すれば勉強になる。



多くの生徒が「あの大きいのは何？」と気になったのがズッキーニ。



こちらが、ズッキーニの実です。



キュウリもたくさん穫れ始め、油断するとお化けキュウリになってしまう時期に入りました。



トマトの花。 トマトは未熟な果実を収穫するキュウリやピーマンなどとは違い、完熟してから収穫するので食べられるのはまだ先です。

自由作の畑では生徒たちが「栽培計画書」を事前に提出してアドバイスを受けた後、実に様々な野菜を栽培しています。



ニンジン



ブロッコリー



ホウレンソウ



インゲン



サニーレタス



カボチャ



オクラ



スイートコーン
と エダマメ



モロヘイヤ

いつも順調というわけではありません。栽培には障害も待ち受けています。



ナノクロムシ（カブラハバチの幼虫）に食べられてコマツナの葉が穴だらけです。



こちらは、ベト病にかかったキュウリの葉です。

このような異変や問題が生じた時には、まず写真に記録して自分自身で調べてみる。そのうえで分かったことと不明な点をはっきりさせて教員に質問し、アドバイスを求めるようにすることになっています。「自由作」は、ただ栽培を楽しむだけではなく「栽培記録ノート」に野菜の生育経過・管理作業・栽培上の工夫などをまとめ、提出します。講義内容に基づく定期考査のテストもあります。それらに各自の畑の手入れの状況なども加えて総合的に取り組みが評価されます。

【今年度6月までの授業風景や畑の様子】《共通作》

5月16日

ジャガイモの土寄せ

ジャガイモは種芋より浅いところにイモができ、地面に露出していると日光が当たって有毒成分のソラニンができてしまいます。それを防ぐために根元に厚く土をかけてやります。土寄せの効果はこの他にもいくつかあります。



6月1日

スイートコーンの畑の除草と雄穂（雄花）の観察

腰の高さほどに成長したスイートコーンの上からのぞくと頂上に右の写真のような雄穂が見えました。



雌穂（雌花）は雄穂より低い茎（稈）の途中から出るがそれはなぜでしょうか。

ヒント・・・「トウモロコシの花粉は虫ではなくて風に運んでもらって雌穂のめしべにたどり着く。」です。



6月8日 共通作の畑の様子



3年選択「野菜」の授業では、トマトケチャップを作る材料となる卵型のイタリアントマト（パスタトマト）を栽培しています。夏休みにレベルアップゼミの実習でトマトケチャップを作る実習を行い、9月の文化祭「青総祭」で販売する予定です。

共通作では「野菜園芸」「野菜」ともに以下の野菜を栽培しています。

「ジャガイモ」「サツマイモ」「サトイモ」「スイートコーン」「ラッカセイ」
「トマト」「ナス」「ピーマン」「オクラ」「エダマメ」

このうち「サツマイモ」「サトイモ」「ラッカセイ」は収穫が2学期になります。

共通作で栽培している野菜は定期考査に出題される可能性が高いので、共通作の内容もしっかりと復習をしておいてください。

「自由作」の畑は7月いっぱいまで1学期の栽培が終わります。7月下旬のレベルアップゼミの実習で1学期栽培した「春作」の畑を各自で責任をもって片付けます。8月上旬に教員で秋作に向けた土壌作りをします。8月下旬のレベルアップゼミの実習で各自の畑で「秋作」の準備を行い2学期の栽培を開始します。

9月は「青総祭」「体育祭」と行事が続き、授業が減ります。しかも秋分の日を過ぎたあたりから気温が大幅に下がり始めるので、栽培のスタートが出遅れると1学期よりも取り返すのが困難になります。受講している生徒の皆さんは、しっかりと計画を立てて早めの準備を心掛けてください。